



最近は、にきび、母斑、しみ、粉瘤など皮膚科で顔の疾患の相談が多い。なるほど。マスクの装着が自由となり、果然気になり始めたためだろう。

そこで解説。

まずご存知「にきび」から。思春期前から急増し若者が最も気になる「吹き出物」。毛穴に皮脂が溜まる「白ニキビ」ができて、次にそこにアクネ菌が増殖し痛みを伴う「赤にきび」となる。後者が増大すると跡になって残りやすい。医療の目標は跡を残さない事で、跡が残らぬ程度のにきびは仕方ないと思うのが良い。「白にきび」は跡は残らない。改薬皮脂を溜まりにくくするクリーム「ディフェリングル」が根本治療だ。「赤にきび」に至れば抗生剤入りの「クリンダマイシンゲル」を追加する。前者には「にきび跡」を修得する「ピーリング効果」もあり結構役立つのだ。

上記の外用薬でも効かない赤い大にきびには抗生剤（ミノマイシンやクラリス）などを適宜内服し、加えてケミカルピーリング石鹸を用いる。上記のクリームも石鹸も使い方のコツをきちんと理解して用いないと、皮膚の発赤などの副作用が結構出る。詳しくは外来で説明します。

次に「母斑、ほくろ」

一見「しみ」のようだが、盛り上がっており良性腫瘍で外用薬では治らない。見た目に加えて髭剃り時に出血で困る方も多い。小さな母斑は円柱型のメスで脂肪層まで切り取ると、目立ちにくく取れる。大きい母斑は顔のしわに合わせて流線型に切り取り縫う。いわゆる冷凍凝固は効かないし、大きいものはレーザー治療は不向きだ。「しみ」「粉瘤」は後日。

追伸「湿疹かゆみ」の皮膚に、「にきび」ができるのが治療にてこずる。両者の外用薬がお互いを悪化させるから。本人が病態をきちんと理解して薬を使う必要があるのだ。これまた詳しくは外来で説明します。

ハーブ内科皮膚科 理事長 竹内 秀俊

ハーブ内科

検索



スタッフブログを毎週更新中!



発行元:(医)ハーブ内科皮膚科・(株)ハーブライフケア

所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67

TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753

【快想法デイサービス】

「落花生、梨、スイカといえば何県?」

これは快想デイサービスの脳トレクイズプリントの問題です。これまで脳の活性化としてパズルや漢字・数字のコマ並べなどを提供してきました。今年からこれまでにのものに加え、計算問題や文字の書き取り・そろばん・文字の並べ替え・雑学クイズなどをご用意し、楽しみながら脳の活性化に取り組まれています。



クイズ問題はお隣同士相談しながらワイワイと◎そろばんも「子どもの頃は得意だったよ」と腕前を披露してください、『お勉強』といった雰囲気ではありません。脳シなんて苦手☹️という方も、鉛筆を持って日にちやお名前を書くことがリハビリの一つ。

さて、最初のクイズの答えはお分かりになりましたか?

…千葉県でした。

【外来検査説明】

認知症かな?

認知症は「脳の生活習慣病」
少量の採血のみでMC I (軽度認知障害) のリスクがわかる検査



MC I プラス スクリーニング検査 登場

税込み 22,000 円

早期発見

早期対策

MC I とは…認知症はある日突然発症するのではなく、長い年月をかけて脳内に原因となる老廃物が蓄積し発症します。発症の一番の原因は加齢ですが、実は中年期からの乱れた生活習慣の積み重ねも大きく影響すると言われてます。

認知症の中で最も多いアルツハイマー病は一度発症すると健常に戻ることはできません。

そこでMC I プラス スクリーニング検査を行い適切な予防をし、進行を遅らせてプラスな未来を始めましょう。

運転免許の更新に自信がない方などおすすめです。